

科目名	現代経済入門	科目分類	■ 専門科目群 □ 総合科目群		
			経済学科	■ 必修 □ 選択	
			学科	□ 必修 □ 選択	
英文表記	Introductory of Modern Economy	開講年次	■ 1年 □ 2年 □ 3年 □ 4年		
		開講期間	■ 前期 □ 後期 □ 通年 □ 集中		
ふりがな	のぐち ひでゆき	実務家教員担当科目	○	修得単位	2単位
担当者名	野口 秀行	実施方法	□ 対面のみ □ 遠隔のみ ■ 対面・遠隔併用		
授業のテーマ	日本経済の特徴とその問題点を、世界経済と関連付けて学習する。				
到達目標	各受講者には日本経済の全体像と、個別専門領域に取り組むための基礎事項を修得して欲しい。				
授業概要	戦後の日本経済の変遷を学びつつ、第4次産業に向けた経済システムの大変革を学びます。				
授業計画					
第1回	戦後の世界経済のシステムと日本の戦後復興 如何にして日本経済は復活出来たのか				
第2回	日本経済の成長の軌跡とバブル経済 デフレスパイラルに陥った日本経済に復興の道はあるのか				
第3回	バブル経済の崩壊と産業構造改革				
第4回	日本経済が抱える課題 少子高齢化と格差の拡大 なぜ日本経済は成長できない				
第5回	リーマンショックと世界経済の低迷 世界の金融市場の変容と金融恐慌のリスク				
第6回	世界経済のグローバル化、IT化、ディレギュレーション 世界経済とバリューチェーン				
第7回	世界経済の構造変革 リーマンショック以降の世界経済の歩み				
第8回	中国経済の台頭と挫折 中所得国の罠				
第9回	米中デカップリングとトウキディデスの罠 ロシアのウクライナ侵攻をどう読み取るか				
第10回	米国の長期金利の動向と世界経済の行方 世界経済をリードするアメリカ金融				
第11回	歴史的転換期を迎えるEU：英国のEU離脱、コロナウィルス、移民問題				
第12回	GAFAMと日本経済の複雑性 日本経済の再生はあり得るのか				
第13回	デジタルトランスフォーメーション (DX) とサステイナブルトランスフォーメーション (SX)				
第14回	ポストコロナとグリーンリカバリー SDGs と ESG ドーナツ経済学とサーキュラーエコノミー				
第15回	ウクライナ侵攻と世界経済 世界経済がどのような影響を受けるのか				
第16回	定期試験				
授業時間外の学習	予習復習の徹底、事前配布のプリントに目を通しておくこと				
履修条件 受講のルール	なし。				
テキスト	プリント配布				
参考文献・資料	追って連絡します				
成績評価の方法	期中のレポートおよび期末試験の結果を総合して判断します。 出席回数が規定に満たなかった場合、その他納入金未納の場合は試験を受けることができません。				
オフィスアワー	火曜日午後及び水曜日全日				
成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)				
実務経験及び実務を活かした授業内容	日本政策投資銀行に勤務。設備投資研究所、開発総合研究所において研究・調査実務に従事。全国総会では計画策定などを担当。設備投資研究所では宇沢弘文博士のもと社会共通資本の研究に従事。国土交通省の地域振興アドバイザー、UR都市機構のまちづくりアドバイザーなども歴任。政投銀の設備投資研究所と連携し、ネットワークを活かした最新の情報を提供する。				

学生への
メッセージ

日本経済の可能性を信じ、克服すべき課題について探求して行きます。